

応募者の思い（デザインへのコメント）

NO. 1

「幌加内町に入った」と一目でわかるサインを目指して
カントリーサインの目的は、「走行中にどこの市町村に入った
か認識していただくとともに、その街の特徴を一目で理解して
もらうこと」とされています。（北海道開発局サイトより）
「○○の絵が描いてあるから、ここは○○町だね」と直感的に
分かれることが求められており、そのため、使用されるモチーフ
はある程度の知名度があることが重要です。そこで今回は、
「幌加内町といえばこれ」と言える代表的な存在——「幌加内
そば」と、日本最大の淡水魚である「イトウ」——の二つをメ
インモチーフとして取り上げました。どちらも幌加内町の誇る
資源であり、町内外にファンも多く、視認性・認知度の両面で
強みがあると考えています。
背景には、幌加内町の豊かな自然を象徴する山並みを描いてい
ます。その手前に広がる白い部分は、咲き誇るそばの花畑かも
しれませんし、朱鞠内湖を渡る風が吹くるさざ波かもしませ
ん。見る人の想像によってどちらにもとれるようにしており、
どちらに見えても「正解」です。



幌加内町
Horokanai Town

NO. 2

幌加内町と言えば蕎麦。日本一の蕎麦の生産地でも
ある中、今までのカントリーサインにはなかった、
誰が見ても【蕎麦の花と雪の町】と、わかるデザイ
ンに。以前のカントリーサインにもあった、－
41.2℃の記録を超える地域は他にはない！！この寒
暖差こそが美味しい蕎麦の秘密！



幌加内町
Horokanai Town

NO. 3

テーマ「日本一が3つある町」
幌加内町には日本一が「そば」「最低気温」「朱鞠
内湖」と3つあり、それらを全て表現できるような
カントリーサインにしてみました。
また、朱鞠内湖には幻の魚イトウが生息しているの
でそちらもデザインしました。



幌加内町
Horokanai Town

NO. 4

幌加内町は「三つの日本一」を誇る町です。「日本一のそばの
里」を象徴するのが、マスコットキャラクターのほろみん。町の
特産であるそばを全国にPRする存在です。さらに「日本一の人
造湖・朱鞠内湖」は、四季折々の美しい景観を見せる観光資源で
あり、その湖では“幻の魚”イトウがいます。そして「日本最低気
温記録（－41.2℃）」を示す雪の結晶をデザインに取り入れる
ことで、厳しくも澄んだ冬の自然を表現しました。この作品は、
ほろみんが朱鞠内湖でイトウを抱える姿を描き、雪の結晶を添え
ることで、幌加内の三つの日本一を一目で伝えられるようにして
います。マスコットキャラクターを取り入れることで親しみや
ずさを加え、さらに温かい地域性が伝わるようなデザインを目指
しました。



幌加内町
Horokanai Town

NO. 5

・幌加内町を流れる雨竜川を特産品である蕎麦で表
現しました。
・「幌加内は二度雪が降る」という言葉にちなん
で、幌加内の雪景色と蕎麦畑の二つをデザインに盛
り込みました。



幌加内町
Horokanai Town